

poco a poco

ポ コ

ア

ポ コ

第4号

X'masLive特別編 ～定期演奏会ご報告～



定期演奏会にご来場頂きありがとうございました。

今回のメイン曲であるミュージカル「サタンの種」は、思い起こせば8～9年前、海外で発売されたCDを聴いたのがきっかけで、いつか演奏会を開いてみたいと言う思いが実現出来た演奏会でした。

演奏会の準備に約1年かかった訳ですが、和訳や演出等、色々大変な事はありませんでしたが、とても楽しく充実した時間が過ごせました事、感謝しております。

当日は照明も入り、1年の時間を費やした完成形は耳も目も両方楽しめる総合芸術的な要素があり、達成感もひとしおでした。

楽団の皆さんの集中力もあり、合唱とダンスもテンションが高まる中、ソリスト、音響、照明、全てのスタッフの皆さんが素晴らしい仕事をして頂き、本当に良いステージが創れたと思います。

演奏会が終わってもしばらくは頭の中はエリザベスやトーマスの歌が回っていました。

今回の演奏会は自分の中でも間違いなく忘れられない思い出となると思います。

やりたい企画はまだまだ沢山ありますので、これからもワクワク・ドキドキする演奏をして行きたいと思っています。



東芝府中吹奏楽団 音楽監督 上原 宏

『演出家 酒井先生へ 突撃インタビュー！！』

(編集長を務めます「ねこ隊長」です。今回演出をしていただいた酒井先生にインタビューしました。)

ねこ隊長:「今回サタンの種の演出をご担当されて、感じたことを教えてください」

酒井先生:「とにかく纏めやすかったですね。私は普段プロのミュージカルの演出をしているのですが、プロのミュージカルでは、個々がその役に専念するため、纏めるのが大変なこともあるんです。しかし、東芝府中吹奏楽団のみなさんは、いろんなことをみんなで考えたり、協力して、全員で定期演奏会に向けて結束していたという感じでした。こんなまとまりがあり、やりやすい本番、久しぶりでした。」

ねこ隊長:「ダンサーの振り付けもしていましたが、酒井先生が教えたダンスを、みなさんよくすぐに覚えられますよね。」

酒井先生:「ダンサーはみなさんみたいに楽譜がないので、その場で覚えるしかないんです。長くやっていればそういう能力ってつくんですよ。今回はみんな本当によく頑張ってくれました。」

ねこ隊長:「そうなんです。私もダンスが出来るようになりたいです。サタンの種は本当に良い作品だったと思います。」

酒井先生:「今回で終わりにしちゃうのが本当にもったいない。また一緒に共演しましょう！！次回はカルミナ(※)で！？」

ねこ隊長:「はい、是非(●´ω`●)だ」



※カルミナとは？:カルミナ・ブラーナ(Garmina Burana)は19世紀初めにドイツ南部、バイエルン州にあるベネディクト会のポイレン修道院(ベネディクトポイエルン;Benediktbeuern)で発見された詩歌集。カール・オルフがこれに基づいて作曲した同名の世俗カンタータがある。TVやCM等で、良く耳にする曲です。

『共演者からメッセージ』



この度はミュージカル「サタンの種」に出演させて頂き本当にありがとうございました。

お稽古の最中、なかなか楽団の皆さんとお話をさせて頂く事ができませんでしたが、皆さんが奏でる音を背中に感じながら歌う事がとても気持ちよく、とても楽しかったです。

皆さんの一生懸命さが伝わり、いっぱいパワーを頂いちゃいました！

本番では、こんなヤンキー顔の私のくせに、ものすごく緊張してしまい体中が震えドレスが小刻みに揺れるという始末。。。

でも 舞台の上を歩きながら楽団の皆さんの姿を見た時には、とても心強く感じました！

とても優しい上原先生をはじめ、カラー豊かな東芝吹奏楽団の皆様、パワフルなおちやめな合唱団の皆様、本当にありがとうございました！

音楽を通して、皆さんにお会いできた事がすごく嬉しいです！！

また、是非皆さんと一緒に舞台にたてたいと思います。

あっ！！

よかったら たまにしか更新しない私のブログも見てやって下さい(笑)



YUKIKO <http://ameblo.jp/yukiko-6274-s/>

エリザベス役 板倉 由希子

“カテリーナへ”

トーマス・ヴァンデンボルデン…サタンの種の舞台となる村の村長の息子。彼は、カテリーナとアンナという2人の女性に挟まれ、思い悩み、最後には結局カテリーナを選んだ。では、本当にカテリーナを愛し、その後も愛し続けたのだろうか…

さて、ここに一通の手紙がある。“カテリーナへ”とだけ書かれた手紙。この手紙が彼の想いを辿るヒントになるだろう…ん？何故これを私が持っているかって？…それは、企業秘密。では、手紙を読んでみよう

「愛するカテリーナへ

君と出会った時、僕はどこまでも自由に飛んでいける鳥を羨ましく思い、君に纏う微風になり、君をずっと包み込んでいたいと思った。あの時はまるで魔法に掛けられたただの動物に過ぎなかった…今思えば、あの時から僕は君に恋をしていた。だから今、君に心から誓う。僕の人生すべてを投げ打っても君を守ると…。

トーマス」

実はこの手紙、今も彼の手元にあり、カテリーナは読んでいない…彼の決意が信念に変わり、きっと今も彼女を想い続けているに違いない。あなたはどうか感じたかな？

トーマス役 江口 浩平



「とっても素敵な作品でした！！」

ミュージカルのピアノを…というお話を初めて聞いた時、あれ、吹奏楽団なのに…ミュージカル？と、とってもびっくりしたのを覚えています。でも、私はミュージカルファンの人であり、吹奏楽も大好きなので、この作品に勝手に運命を感じています！！こんな素敵な作品があったなんて…。普段ピアノは個人プレーが多いため、たくさんの方の中で演奏することに、はじめは緊張していましたが、周りの方々が本当に温かく迎えてくださったので、練習に参加するのとても楽しかったです。

歌を口ずさみながら帰ったり…部長の高原さんには、練習帰りのお味噌汁まで(笑)ありがとうございました！

本番当日も、ピアノは吹奏楽の中(ど真ん中！)に置かれ、合唱と吹奏楽の大きな温かい音を周りに感じながら演奏でき、そして目の前の演者の方達に時折見とれながら、とっても素敵なひと時を過ごすことができました。

本当に貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました！

ピアニスト 友田有香

『エンジェルたちの苦悩』

エンジェルハートコーラスとは？

第40回東芝府中吹奏楽団定期演奏会のために特別に結成された、アマチュアコーラスグループです。

思えば、夏のとある日、U先生からの一通のメール「合唱団作って歌え！」から始まったのでした。今思い返せば、あれがサタンの種だったのでしょ？

曲も知らない、楽譜も見えてないのに、今年の夏は暑かったもんで魔がさしたのでしょうか？引き受けてしまったのが始まり。

9月初旬 団員勧誘、指揮者、ピアニスト、練習会場手配。フラマン語の学習。※実はサタンの種はフラマン語。

9月末 プラス本番、エルガー自主練、第九。

10月6日 初練習。読み合わせのみで敢えなく崩壊。

10月中旬 U先生からのサタンメール「日本語版出来たから差し替えて！」マジかよ～(ノ〇〇)ノ
※先生からもらった日本語訳はそのまま使える代物ではなくて、かなり修正をくわえて……

10月19日 日本語歌詞初練習。まだまだ手探り状態……。

10月24日 U先生の稽古。

10月31日 プラス合わせ。バンドの爆音の中で自分たちの声聞こえず、無理に張り上げまったく音楽稽古にならず、たまたま終了後、U先生とバンドに歌入ったら歌を意識してくれと伝えた。

11月3日 バンドの意識が変わり、U先生も楽譜の音量記号あちこち手直して対応。このあたりからやっとな音楽稽古が出来たような？

11月5日 第九の練習からのサタンのリハーサル。当初十九名しか参加出来ないはずが、パックスさんの呼びかけのせいか、二十六人も集まってくれて、本当に嬉しかった。
発声練習前に差し入れのおにぎりを頂きながら、久々の談笑タイムがあり、その時「久々に笑ったね？」なんて言われちゃいましたな。

さてさて迎えた本番当日。

朝から発声はのんちゃんに面倒みてもらい、合唱団もいよいよミュージカルモードに！マイクのせいだけでなく、発声的にも問題ありそうだったので、そのあたりも是正。

ゲネ終わって、本番前も一時間以上、ミュージカル向け特訓。要は言葉をいかにクリアにお客様に聞こえさせるか？

直前駄目出しの注意事項は全てこなせるのがうちの合唱団の特徴。本番では課題だった言葉は見事に飛んでいってましたね～(^_^)v

舞台挨拶でU先生がとことこと後ろに歩いて来て、誰と挨拶すんのかな～と見てたら、俺(☆〇☆)ガッツリ握手で全てが報われたような～^o^(脇見れば団員さん達のいい笑顔！
ああ、やって良かったな～とちょっとウルッ。

こうして怒涛の三ヶ月が過ぎ、やっとな俺の暑い夏が終わりました。思えば、指導者のいない合唱団なのに団員さん達よくついて来てくれたなと思います。ありがとうございました<m(_)_m

あと素晴らしい能力の全てをこの演奏会の為に惜しみなく使ってくれたことに深く感謝致します<m(_)_m

はい、これでエンジェルハートコーラス(一時)解散です！

リーダー バス 山崎 弘光

この度は、大変お世話になりました。

高校時代、ちょっぴりフルートをかじった私ですが、ある日録音を聞いてみたら、7割方、息の音しか聞こえず、がっかりしてヤル気をなくしたという根性なしなので(泣)、皆さんが素敵な音を奏でているのを、後ろからため息まじりで聞いていました。そして、目の前で繰り広げられるサタンの音楽…素人の私は「わ！音源CDとまったく同じだ！」と、驚きました。私たちは、それに乗って気持ちよく歌うことが出来ました。

本番当日、控え室等に貼ってくださったメッセージや予定表、お弁当の運搬など…なにもかもやってくくださったので、私たちは歌うことに専念出来たわけですが、皆さんは楽器演奏だけでも大変かと思うのに、細々とした裏方のお仕事まできっちりなさっていて、大変恐縮でした。東芝の皆さんの「演奏会を成功させよう！」という強い気持ちがずしずし響いてきました。

そして本番。プラスの皆さんと、(僭越ながら)私達合唱団ががっちりタッグを組んで、見事に「サタン」の世界を音に表すことが出来たと思います。

いつか、全曲を…!その際は、ぜひまた参加したいです。

余談ですが、発声場所としてご用意くださった「食堂」や、プラス合わせの会場に貼ってあったメニューがとても美味しそうで、安い！なんとかここで食事できるチャンスはないものかと、未だに考えています(笑)。

東芝の皆さんとのご縁が、これからも続いていければいいなと思っています。

先日、テレビ購入を考えていた我が家では、しっかり「レグザ」買いましたし(笑)。

ソプラノ 穂谷千春

エンジェルハートコーラス命名
ドキンねえさんとドキンちゃん



企画室どたばた日記。

※企画室とは、定期演奏会などイベントの企画から準備、雑用、なんでもやります！！団内の便利屋です。

『男手』

ダンサー用のバレシート(滑り止めシート)をステージに貼るという作業がありました。ホールスタッフの人から「シートは重いから男性が運んだほうが良い」と言われましたが・・・運べちゃいました、私(笑)その後も重い物を運ぶ時にホールスタッフは「力仕事なので男性、何人か・・・」と言いながら、こっち見てました。(^^; 大野

『SE 担当』

ミュージカル曲の「雨」の曲で、CD で貰った雨の音と雷の効果音を台詞に合わせて出せるようにするのに一苦労。結局、ステージ上でパソコン操作して音を鳴らすことに。でも、稲光も入れられて、良い効果が出せて良かった。竹内

『飛脚』

府中事業所においておかなければならないレセプション用の看板を、誰かが間違ってトラックに乗せて演奏会場に持ってきてしまった。そのためリハーサル直前に工場に自転車で行った。往復+蔵ダイニングの方に渡すので 40 分くらい。自転車だと府中の森芸術劇場と東芝府中事業所は意外と近い。立川

『目の毒』

初めてのダンサーとの合わせの練習のとき、ダンサーの衣装の露出が多くて楽譜を見失い吹けなくなりました……。名須川

『PA 担当』

武蔵野ホール(社内の食堂)での練習の時、PA のセッティングをしていたら、演出の酒井先生や、ソリストの皆さんに本気で音響さんと間違われてしまった。長崎

『最長記録』

サタンの種のストーリーの解説を作るのにマックに5時間居座った。金子

泰策の部屋

ホルンはレバーを左手で操作するが左利きの人を考慮した楽器だろうか。答えは否である。

ホルンはヨーロッパで狩猟のときの合図用として生まれた。馬に乗って、先鋒としてウサギや狐を追いかけて獲物を見つけたときに仲間に知らせるのである。先鋒は当然のことだが先頭の方にいるから仲間に知らせるためにはラッパは後ろを向いていなければならない。また、馬に乗って右手は手綱を持っているためホルンは左手で支えざるを得ない。ちなみに、古い日本語でも右手を馬手(めて; 馬の手綱を持つ手)、左手を弓手(ゆんで; 弓を持つ手)と言う。

このようにオリジナルの楽器が左手で支えるものであったため、楽器の発展により枝管操作用のレバーが付いても、左手で操作するようになったのである。



編集後記

メリークリスマス～！！定期演奏会も終了し、休む間もなくクリスマスコンサートを迎えました。まさに師走です。どたばたです。でも、練習した成果をみなさんに聴いてもらえるのは本当に幸せだなと、ねこ隊長は思います。

そしてどの演奏会、イベントでもたくさんの方にご支援いただき、心から感謝しております。

来年はどんな年になるのかな～。いっぱい演奏して、たくさんの人に私たちの演奏を聴いてもらえたらいいなって思っています。それでは、皆様、よいお年をお迎えください。

団のホームページでも様々な情報を発信しております。ぜひ、ご覧ください。



東芝府中吹奏楽団HP: <http://homepage1.nifty.com/TFWO/>

編集長 ねこ隊長